

福岡城に天守閣を  
— 城のある都市復活元年!! —

# お城だより

2008年8月  
No.18



現在の護国神社の上空より見る 福岡城の主郭部、本丸・二の丸・南二の丸(模型)(しんわ福岡城資料室より)

## 「先人の心を次世代へ」

福岡県護国神社

宮司 田村 豊彦



福岡城の南に位置する、護国神社の杜は城内の自然林の中に造られたと思っっている方が多いようですが、実は神社の杜は昭和十八年の創建時、城外福岡練兵場跡地に福岡県民延べ十五万人の方々の誠心こもる勤労奉仕と三、〇〇〇本の献木によって造成された人工の杜です。この杜も、はや六十五年を迎え都会の中にあり、人々の心を癒す鎮守の杜として春夏秋冬親しまれ、私たちを見守っています。

鎮守の杜が果たす役割は、地球環境保全の観点からも注目を集めています。ある調査によれば、杉などの植林が進んだ日本の一般的な森林より二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を三倍以上蓄積していると言われています。このことから、福岡城・大濠公園・護国の杜は、都心の貴重な緑地遺産として次世代に大事に保護継承していかなければならないと思います。

しかしながら、帰宅時や散歩の折に神社の前から城内、南二の丸に向かって上がり、けやき通りに沿って城内を高等裁判所方面に歩を進めるとお濠や道端にはゴミが散乱、所々に落書きも目にし現代の日本人の公德心のなさに呆れます。

比較するのもおかしいかも知れませんが、よく東京は緑地が少ないと言われますが、手入れもよく行き届き整備され、むしろ福岡の町より緑地が多いと思うくらいです。福岡の町は海も山もすぐ近くにあることが逆に自然の恵に対して疎かにしているように見受けられます。

福岡城天守閣がみんなの力で再現できれば、福岡の町の自然・歴史・文化に興味を持ち学び、郷土に誇りと自信が生まれ公德心も育ち大切にしてゆくのではと思う次第です。



# NPO法人 福岡市民の会 第4回総会開かれる

平成20年6月20日開催の第4回通常総会及び第7回理事会に於いて下記の事項が承認されました。

## 1.平成19年度事業報告及び収支決算

### 【平成19年度事業報告書】

平成19年度4月1日から平成20年3月31日まで

#### 1 事業の成果

鴻臚館・福岡城を生かした地域活性化とその復元を目指して、下記活動を実施することによって、鴻臚館・福岡城に対する市民の認識を更に新たにしました。

#### 2 事業の実施に関する事項

##### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
イベント開催	観板の宴	4月6日	福岡城跡	30人	市民150人	150
イベント開催	どんたく舞台	5月3・4日	福岡城跡	50人	市民6,000人	8,249
イベント開催	福岡城歴史展	9月22-24日	よみうりプラザ	10人	市民180人	500
々	々	11月22-24日	アクロス福岡	50人	市民1,260人	1,090
イベント開催	観月の宴	9月27日	福岡城跡	50人	市民1,800人	6,946
研究・啓発	史跡探訪バスツアー	8回	福岡県内	24人	市民355人	0
研究・啓発	講演会の開催	8月11日	中央市民センター	20人	市民100人	102
々	々	3月1日	アクロス福岡	20人	市民200人	228
研究・啓発	機関紙発行	4回	事務局	20人	市民3,000部×4回	1,314

##### (2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)
募金活動事業	個人・団体への募金活動	随時	随所	10人	0

### 【平成19年度収益事業会計収支計算表】

平成19年4月1日から平成20年3月31日

NPO法人 鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会

科 目	金額(単位:円)
I 経常収入の部	
1 事業収入	
イベント開催事業	
どんたく舞台	8,241,699
観月の宴	6,874,325
西日本新聞旅行企画料	260,000
研究・啓発事業	
福岡城・黒田五十二万石の歴史と観光展及び黒田24騎展	1,256,160
その他事業	466,200
経常収入合計	17,098,384
II 経常支出の部	
1 事業費	
イベント開催事業	
どんたく舞台	8,243,050
観月の宴	6,924,300
観板の宴	43,000
研究・啓発事業	
福岡城・黒田五十二万石の歴史と観光展及び黒田24騎展	1,832,774
その他事業	258,198
2 管理費	1,023,163
経常支出合計	18,324,485
III その他の資金収入の部	
1 雑収入	82,983
その他資金収入合計	82,983
当期収入差額	-1,143,118
前期繰越収入差額	-1,162,173
次期繰越収入差額	-2,305,291

## 2.平成20年度事業計画及び収支予算

### 【平成20年度事業報告書】

NPO法人 鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会

#### 1 事業の方針

鴻臚館・福岡城を生かした地域活性化とその復元を目指して、イベント開催や研究・啓発事業を積極的に行うとともに、関係諸団体との連携を一層活発化し、鴻臚館・福岡城に対する認識を更に新たにしてい

#### 2 事業の実施に関する事項

##### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
イベント開催	観板の宴	4月	福岡城跡	30人	市民200人	430
イベント開催	どんたく舞台	5月	福岡城跡	50人	市民8,000人	6,200
イベント開催	福岡城歴史展	9月	よみうりプラザ	10人	市民300人	300
イベント開催	々	11月	アクロス福岡	50人	市民1,300人	1,000
イベント開催	観月の宴	9月14日	福岡城跡	50人	市民2,000人	6,000
イベント開催	新展	9月12日	福岡城跡	50人	市民600人	0
研究・啓発	史跡探訪バスツアー	8回	福岡県内	3人×8回	市民40人×8回	0
研究・啓発	歴史観光	7月~	よみうりプラザ他	15人×5回	市民100人	1,000
々	大字講座	11月	よみうりプラザ他	15人×2回	市民100人	450
研究・啓発	講演会の開催	8月	アクロス福岡他	5人×2回	市民300人	0
々	機関紙発行	4回	事務局	5人×2回	市民3,000部×4回	1,400

##### (2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	支出見込額(千円)
募金活動事業	個人・団体への募金活動	随時	随所	10人	10

### 【平成20年度特定非営利活動に係る

### 事業会計収支予算書】

平成20年度4月1日から平成21年3月31日まで

NPO法人 鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会

科 目	金額(単位:円)
I 経常収入の部	
1 会費収入	2,900,000
2 事業収入	
観板の宴	330,000
どんたく舞台	5,800,000
観月の宴	6,000,000
新展	0
観光歴史大学	1,000,000
福岡城歴史展	300,000
史跡探訪バスツアー	240,000
講演会	300,000
機関紙発行	0
経常収入合計	100,000
II 経常支出の部	
1 事業費	
観板の宴	430,000
どんたく舞台	6,200,000
観月の宴	6,000,000
新展	0
観光歴史大学	1,000,000
福岡城歴史展	300,000
史跡探訪バスツアー	0
講演会	450,000
機関紙発行	1,400,000
2 管理費	1,100,000
3 予備費	90,000
経常支出合計	16,970,000
経常収入差額	0
III その他資金収入の部	
その他資金収入合計	0
IV その他資金支出の部	
その他資金支出合計	0
当期収支差額	0
前期繰越収支差額	2,632,380
次期繰越収支差額	2,632,380

## 3.平成20年度 役員名簿

顧問	麻生 渡	福岡県知事
顧問	吉田 宏	福岡市長
顧問	黒田 長久	黒田家15代当主
顧問	黒田 長高	黒田家

役 名	氏 名	報酬の有無	事 項
理事長	石井 幸孝	無	再 任
副理事長	中島 敏行	無	再 任
理 事	吉谷 正人	無	新 任
理 事	井口 雄哉	無	再 任
理 事	稲員大三郎	無	再 任
理 事	緒方世喜子	無	再 任
理 事	岡部定一郎	無	再 任
理 事	各務 章	無	再 任
理 事	高倉 清子	無	再 任
理 事	西 憲一郎	無	新 任
監 事	仁田 辰治	無	再 任

敬称略



## 総会報告

NPO法人鴻臚館・  
福岡城跡歴史・観光・市民の会  
第4回通常総会報告

日時 平成20年6月20日(金)

10時~12時

場所 読売新聞西部本社1F  
よみうりプラザ

### 審議事項

第1号議案・平成19年度事

業報告及び収支決算

第2号議案・平成20年度事

業計画及び収支予算

5月30日(金)の第7回理事  
会を経て、総会が開催され右記  
のとおり無事終了しましたこ  
とを会員の皆様にご報告いた  
します。

また、事務局より新規事業と  
して「福岡歴史観光市民大学」  
の開講及び11月上旬の下の橋  
大手門の開通式典について説  
明をいたしました。西理事より  
福岡市博物館自主企画特別展  
「黒田長政―二十四騎展」9月  
12日より開催のご案内があり  
ました。



藤金之助

この隠居所には播州以来の功臣たちが次々と訪れ、如水を圍んで酒を飲んで夜を徹して歓談したという。また如水は若い家臣たちを呼んで父祖の武勇を語って聞かせ教育をした。

如水は人使いの名人と云われるが、或る時竜若という子供の草履取りのいたずらがあまりにもひどいので、台所の柱に縛りつけた。そこへ田舎からウリを差し上げたいと云っていたので如水は竜若の縄をとき使いにだし、帰つてくるとウリを食べさせ又縛る。こうして三日間、放しては用事をさせ、又縛つてようやく許してやる。側の者が珍らしい罰だと聞くと、如水は笑つて「竜若のいたずらを直そうと縛つたが、使わないのも損だし、縛りづめも可愛そうだから時々放して用事をさせた。ゆるゆると折檻すればこりるであらう。」と語り、みんなは笑いながらも如水の優しさに感じ入つたという。

(参考・柳猛直著「黒田三百年」)



## 如水像

(株)東雲堂

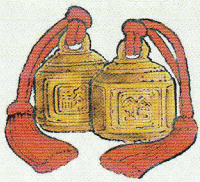


**市民参加の古代官道(西海道)調査・活用事業**

**―古代のハイウェイを甦らそう―**

☆「新たな公」モデル事業(市民の会・新規事業・太宰府のNPOと共同事業)

七世紀につくられた壮大な古代官道の二大拠点は、畿内とならんで、西海道であり、域内すべての官道は基点太宰府から始まっており、畿内との大路(山陽道)、鴻臚館との直結道路が基幹となっており。まず、太宰府を中心にして六方面に伸びる官道と、合わせて鴻臚館との連結に集点を合わせ、太宰府・筑紫野両市域を中心とした福岡都市圏の歴史・文化・ウォーキング・地域おこし等のグループとともに「古代官道探索イベント」を始めたと思っています。国・教育委員会・学会等による従来の発掘調査・研究成果の開示や郷土史家の協力を得て、参加市民のオリエンテーションを行い、地図等による地理的調査、現地踏査調査、地名・景観・言い伝え等による郷土史的調査を継続的に行います。その成果をまとめるとともに、その活用方法についての市民提案等も行う、ルート上の地域活性化につなげて行きたいと考えています。



古代官道の通行証だった駅鈴

**鴻臚館・福岡城  
観月の宴の開催**

**とき**

平成二十年九月十四日(日)

受付…十六時

第一部/月のめぐみに感謝して

十六時二十分

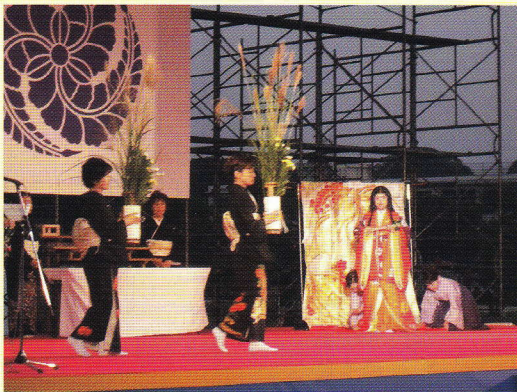
月の出 十七時四十三分

第二部/観月の宴 十八時十分

**ところ**

舞鶴公園西広場

☆会員の皆様のご参加をおまちしています。



**満月の光の中に現れる幽玄の舞台**

**福岡城 観月薪能**

**とき**

平成二十年九月十五日(祝)

午後六時開演 午後五時開場

**ところ**

舞鶴公園西広場

(雨天の場合は、大濠公園能楽堂)

**入場料**

全席自由二千円 六百席限定

**問い合わせ先**

入場券発売所

能楽協会九州支部

〇九〇―二二六六六―〇九五九

(事務局/西向)

大濠公園能楽堂

〇九二―七二五―二二五五

**編集後記**

残暑お見舞い申し上げます。

理事会・総会も無事終了し、ほっとしながらも新たな挑戦が始まっております。

新規事業として「福岡歴史観光市民大学」の開講、「鴻臚館と太宰府を結ぶ官道」の研究を太宰府市NPOの方々とともに進めてまいります。

このように試行錯誤しながら、天守閣への夢は少しずつ前進していると事務局員一同信じて諸事業に従事しております。会員の皆様方も事業等、市民の会の活動に是是非非の声を寄せください。皆様のご支援をお待ちしております。

**表紙  
福岡城本丸・二の丸・  
南二の丸 写真の説明**

**【福岡城本丸】**

標高24mの所に本丸御殿があり初代藩主黒田長政が住んでいました。この本丸を土台に高さ13mの天守台の上に23mの天守閣がそびえていました。したがって海面から天守閣の鯨までの総高は60mになります。(現在の20階建マンションに相当)

**【南二の丸】**

本丸の南側方面の守りを固めるため、黒田24騎の武将が城代を勤めていました。ここには天守閣に次ぐ大きな南三階櫓がありました。更に今でも見ることが出来る多聞櫓があります。

**【追廻橋と門】**

福岡城内には三方所の「橋と門」しか出入りが出来ませんでした。その中の一方所がこの追廻橋と追廻門です。現在は復元橋が別な場所にあります。

**編集・発行:**

鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会

**住所:**

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-12-15  
読売福岡ビル7階

TEL:092-716-8238

FAX:092-716-8254

**HPアドレス:**

<http://fukuokajokorokan.nngo.jp/>

**E-mail:**

[fukuokajo@tos.bbiq.jp](mailto:fukuokajo@tos.bbiq.jp)

デザイン・印刷:(株)セブンプリンティング